

グローバル教育部門

4月

- トビタテJAPAN地域人材育成コース募集(第4期)
→1名採用(オーストラリアへ9月に渡航予定だったが
コロナ禍により2022年度に延期)
- グローバルセミナーⅡ(緑丘アカデミア等との連携)
実施(7月まで:オンライン開講)

5月

- グローバルマネジメント副専攻プログラム(GMP)
新規所属者募集

7月

- 交換留学派遣(2021年度第Ⅲ期及び2022年度第Ⅰ期)
募集
- グローバルフィールドワークⅠ実施(オンライン)

8月

- 語学研修(ニュージーランド・オタゴ大学、オーストラリア・ウーロンゴン大学)オンライン実施

アジア・オセアニア事情又はアメリカ事情として、夏季にオタゴ大学・マラヤ大学に計30名、春季にカルガリー大学・ウーロンゴンの大学へ計30名を派遣していたが、コロナ禍の影響により海外渡航ができない代替として、オタゴ大学とウーロンゴン大学のオンラインによる語学研修プログラムを夏季及び春季に実施した。

9月

- 短期留学プログラム(交換留学受入)開始→日本への入国が不可となり、オンラインによる科目履修を実施
- 地域連携PBL型科目「プロジェクト・ラーニング(通称:本気プロ)」成果発表会

10月

- ギャップイヤープログラム説明会の開催(オンライン)
- 交換留学(半年-1年)派遣実施(10月~3月)

半年~1年間の交換留学については、文部科学省の指針等の緩和を受け、感染症危険レベルが2以上の地域への派遣を可能とした。

2021年度は、10月から3月にかけてオーストラリア、アメリカ、オーストラリア、韓国へ学生が渡航した。

- 国際交流週間(イベント週間:オンライン実施)

学生団体を中心に後輩へ向けた留学説明会・報告会をオンラインで開催した。1回あたり30分程度の説明を計10回行った。参加者は1回あたり6名程度、延べ20名のリアルタイム視聴があり、加えて2,000回のアーカイブ視聴があった。

期間の最終日には、本学から留学した学生と海外協定校から受け入れた交換留学経験者がオンライン上で集まる「国際交流パーティー」が開催され、合計30名程度の参加があった。

- 社会連携実践Ⅰ~Ⅲ実施

11月

- グローバル総合入試(総合型選抜)実施

12月

- ギャップイヤープログラム採用者選考

留学及び英語で実施される専門科目の履修が必須となる「グローバルコース」(主専攻)のグローバル総合入試(定員20名)は2年目となり、グローバル教育部門の教員が中心となって実施している。

今回は33名の出願者があり、内ギャップイヤープログラムへは9名が希望を表明していたが、最終的に5名が選考され、2022年5月にアメリカ・ハワイ大学カピオラニコミュニティカレッジでのギャップイヤープログラムへ参加する予定である。

- 交換留学派遣(2022年度第Ⅱ期)募集

1月

- グローバルフィールドワークⅡ実施(オンライン)

2月

- 語学研修(オーストラリア・ウーロンゴン大学)オンライン実施

3月

- 短期留学プログラム(交換留学受入)開始

コロナ禍の影響により、2021年度は見送り・中止した事業

- ギャップイヤープログラム(ハワイ大学カピオラニコミュニティカレッジ)(5月~12月)
- グローバルインターンシップ(7月・12月)
- アジア・オセアニア事情(オタゴ大学・マラヤ大学)(8月)
- ヨーロッパ事情(トランシルバニア大学ブラショフ校)(9月)
- アジア・オセアニア事情(ウーロンゴン大学)及びアメリカ事情(カルガリー大学)(2月)
- アメリカ事情(ボストンスタディツアー)(3月)